

2025年度業務実績報告書

提出日 2026年1月6日

1. 職名・氏名 教授 笠井 恭子

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 石川県立看護大学、
授与年 2017年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護学概論（1単位）1年生
②内容・ねらい ナイチンゲール看護論をととして看護の定義、看護の役割を理解する
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら「看護とは何か」を学ぶ
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護理論（2単位）1年生
②内容・ねらい 主要な看護理論家の看護理論の内容を理解する
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら看護理論を学ぶ
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護倫理学（1単位）2年生
②内容・ねらい 医療倫理・看護倫理の変遷、医療に関わる倫理学の諸理論、医療倫理の4原則・重要概念、ケアの倫理、看護倫理の重要概念について理解する
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義、個人ワーク、ディスカッションを取り入れながら看護倫理学の基礎を学ぶ
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護過程展開論（1単位）2年生
②内容・ねらい 看護過程を展開する技術を学習する
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 看護診断とは何かを学び看護診断名をつけることができるように支援する
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護研究方法論（1単位）3年生
②内容・ねらい 看護研究の必要性と主要な研究方法、看護研究の研究倫理、倫理的配慮について理解する
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 4年生の卒業研究につながるよう学生の研究疑問に基づき研究計画書を作成する
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護発展セミナー（1単位）4年生
②内容・ねらい 看護実践と看護理論のつながりについて文献検討を行った上で、看護学実習で受け持った事例について看護理論を活用しまとめることができる
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 上記を達成するため少人数のゼミ形式ですすめる

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅱ （2単位）2年生
②内容・ねらい 受け持ち患者の看護過程を展開し、看護者としての基礎的態度を身につける
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究 （3単位）4年生
②内容・ねらい 自己の研究課題に対して研究のプロセスをふみ卒業研究論文としてまとめる
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護倫理学 （2単位）大学院1年生
② 内容・ねらい 看護職としての倫理的責務を理解する、倫理的課題に対する判断力を養う、臨床現場で起こりうる倫理的ジレンマに対応するためのスキルを習得する
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 授業全体のテーマとして「看護倫理に基づく臨床判断と実践」を掲げ、理論と実践（事例検討）、そしてディスカッションを組み合わせ、深い倫理的理解を目指す
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学演習 （2単位）大学院1年生
②内容・ねらい 修士論文で取り組む研究計画を作成する
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護マネジメント学特別研究 （6単位）大学院2年生
② 内容・ねらい 自己の研究課題に対して研究のプロセスをふみ修士論文としてまとめる
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 健康生活科学特論 （2単位）大学院1年生
②内容・ねらい 主要な看護理論家がとらえる人間と健康・生活上の課題の解決方法について理解する
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 講義、ディスカッションにより、看護学において人間をどのように理解するかを学ぶ
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 研究倫理特論 （2単位）大学院1年生
②内容・ねらい 人を対象とする研究一般における臨床倫理について理解する
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 講義、ディスカッションにより学びを深めて、自らの研究活動に活かせるようにする
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護実践開発演習 （4単位）大学院1年生
②内容・ねらい 自己の研究課題と関連させながら、実践的な研究プロセスを理解する
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫 エビデンスに基づく看護実践の開発に関する関連論文の抄読、ディスカッションを行う
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 健康基礎科学特別研究 （6単位）大学院1～3年生
②内容・ねらい 自己の研究課題に対して研究のプロセスをふみ博士論文としてまとめる
③講義・演習・実験・自習運営上の工夫

学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する
(2)その他の教育活動
・基礎看護学方法論Ⅶ(看護と研究)(6時間) 福井県立看護専門学校非常勤講師 ・倫理学①(生命倫理)(16時間) 福井歯科専門学校非常勤講師 ・倫理学②(医療倫理)(16時間) 福井歯科専門学校非常勤講師 ・令和7年度第32回認定看護管理者教育課程ファーストレベル特別講義「プレゼンテーション」(4時間) 福井県看護協会 ・福井県保健師助産師看護師実習指導者講習会「看護理論」(8時間) 福井県看護協会 ・福井県保健師助産師看護師実習指導者講習会「看護診断」(4時間) 福井県看護協会 ・看護研究指導(12時間) 福井県立病院

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書
・生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図 第5版,「睡眠障害」を執筆, 医学書院, 2025年12月 【1本】
②学術論文(査読あり) 【0本】
③その他論文(査読なし) 【0本】
③ 学会発表等
・パーキンソン病教育入院中にACP介入を行った患者が語る思い, 佐々木美祈、中園 真由香、石川 知香、早瀬 史子、笠井 恭子, 第56回(2025年度)日本看護学会学術集会, 2025年9月12日～14日, 名古屋
・乳酸菌 FHC3株の脂質代謝調節作用と睡眠改善効果の検証, 大島千佳, 日弁隆雄, 村上茂, 笠井恭子, 古澤之裕, 東知宏, 小沢美里, 宮下妃海, コ・メディカル形態機能学会第23回学術集会, 2025年9月20日～21日, 福井 【2件】
④その他の公表実績 【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
科研基盤研究(C) 2025～2027年 研究課題: 体軸体操がもたらす姿勢・腸内環境改善効果・情報機器作業者の新たな健康増進戦略・笠井恭子(研究代表者), 大島千佳, 東知宏, 普照早苗
(3)特許等取得
(4)学会活動等
・コ・メディカル形態機能学会第23回学術集会実行委員

5. 地域・社会貢献活動

・近畿地方社会保険医療協議会委員(2022年10月～現在) ・日本看護倫理学会代議員(2023年～現在) ・福井県衛生環境研究センター・健康福祉センター倫理審査委員会委員(2014年～現在) ・福井県健康づくり推進協議会委員(2021年1月～現在) ・福井県済生会支部理事(2022年～現在) ・福井県済生会病院地域医療連携運営委員(2025年8月～) ・福井県看護協会監事(2023年6月～現在) ・福井県看護協会臨床指導者講習会講師(2008年～現在) ・福井県立病院看護研究研修講師・アドバイザー(2022年～現在) ・睡眠講座
--

仁愛短期大学 2025 年 1 月 6 日 坂井市 2025 年 2 月 21 日 加賀市 2025 年 3 月 23 日 大和ハウス 2025 年 4 月 27 日 豊公民館 7 月 12 日 健康保険組合 9 月 27 日 福井市 11 月 30 日 足羽公民館 11 月 30 日
--

6. 大学運営への参画

(1)補職
看護福祉学部長（2025 年度～）
(2)委員会・チーム活動
・ 教育研究審議会（2025 年度～） ・ 部局長会議（2021 年度～現在に至る）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など